

令和元年度

事業報告書
及び附属明細書

自 平成 31 年（2019 年）4 月 1 日
至 令和 2 年（2020 年）3 月 31 日

公益財団法人 八王子市学園都市文化ふれあい財団

I 令和元年度財団経営の総括

令和元年度は、第2次中期経営計画の4年目として、同計画に掲げる目標を達成するために予算化した事業を実施しました。しかし、令和2年2月以降は新型コロナウイルス感染症により大きく影響を受け、一部の公演を中止・延期したほか施設の利用制限を行いました。指定管理者として3文化施設、夢美術館、18市民センター、14地区会館及び上柚木公園を適切に管理運営したほか、以下の各事業を実施できました。

芸術文化振興事業では、ジャズの魅力や多摩の伝統文化を多くの方々に楽しんでいただくため、「八王子音楽祭」や「伝承のたまてばこ」、「八王子学生演劇祭2019公演」など多種多様な事業を実施しました。

夢美術館では、特別展を6回開催し、そのうち1回は市民の文化芸術活動等普及のため「市民公募夢美エンナーレ入選作品展」を開催しました。

また、コミュニティづくりでは地域住民協議会と連携し、各市民センターを中心に地域交流の場を提供しました。

上柚木公園では、小学生対象短距離走競技会「はちおうじダッシュ！」を実施したほか、地域のボランティア団体などと連携し、安全できれいな公園づくりを行いました。

学園都市づくりでは、学園都市大学（いちょう塾）の開講、大学コンソーシアム八王子の支援を行いました。

一部の公演の中止・延期や施設の利用制限を実施したことで、入場料及び利用料金が大幅に減収になりましたが、年度当初からの効率的な業務執行や経費削減に努めたこと、また、新型コロナウイルスに対する危機管理対応により事業活動収支は黒字となりました。

なお、新型コロナウイルスの影響による入場料・利用料金の減収分については、黒字決算になったことから八王子市からの補填は受けておりません。

※ 中止した事業：10事業、延期した事業：8事業（詳細については、事業一覧を参照）

1. 中期経営計画（令和元年度）

(1) 中期経営計画の重点施策と結果

① 魅力ある芸術文化事業を全市的に展開し、「芸術文化薫る魅力都市八王子」を市内外に発信する

⇒ 八王子音楽祭では、ジャズをテーマに障がいのある方と共に楽しめる企画や、アートと楽器のコラボレーションなど、多様な事業を実施しました。ホールや多くのカフェ等で、全49事業、約7,000人の方に来場していただきました。

伝承のたまてばこでは、八王子以外の多摩地域7市の伝統文化の紹介や、八王子に古くから伝わる伝承のお手玉歌の紹介などを行い、約37,000の方が来場し、文化の薫る街づくりと賑わいの創出に寄与しました。このほか、芸術文化会館などでは「八人の王子たち」や「NAOTO&榊原大アコースティックコンサート」、「コロッケコンサート」など多様なジャンルの鑑賞機会を提供しました。

夢美術館では「なぞなぞ絵解き 判じ絵展」や「かこさとしの世界展」など6回の特別展を開催しました。

② 子ども・市民の文化活動、地域コミュニティ活動を支援し、豊かな市民生活実現と地域コミュニティ活性化に貢献する

⇒ 子ども・市民の文化活動では東京交響楽団の奏者が直接指導をするユースオーケストラ事業や、学校に音楽を届けるアウトリーチ事業のほか「オーケストラ・ワンダーランドへようこそ!」、「八王子ふれあいこどもまつり」などを通じて、多くの児童が音楽や演劇に触れる機会を提供し、子どもたちの健全な育成に寄与しました。

また、「八王子学生演劇祭2019」では、学校単位の参加のほか個人参加のワークショップを実施し学生の文化芸術活動の支援を行いました。

地域コミュニティ活動では、地域の住民協議会が実施する市民センターまつりなどを支援

し、地域コミュニティの活性化に寄与しました。

- ③ 指定管理施設において、万全な維持管理と常に進化する運営でお客様満足の最大化を図る
⇒お客様の声対応システムの運用等によりお客様のニーズを的確にとらえ改善に結びつけ、常に利用者目線に立った施設運営を行いました。

- ④ 経営基盤の強化を図る

⇒内部登用による正規職員化や計画的な研修による人材育成に取り組みました。また、効率的な業務執行により固定経費の削減を図るとともに、利用料金収入や自主事業収入などの確保により経営基盤の安定化を図りました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う自主事業の中止や延期及び施設の利用制限などの影響で大幅な減収となりました。

(2) 課題と展望

- ① 自主事業収入等の増収

幅広く市民のニーズを把握・分析し、新しいサービスや運営・事業につなげる必要があります。指定管理施設では、基本的財源である利用料金収入の上積みと自主事業収入の利益率を高め増収を図ります。

- ② 自主財源の確保

財団の持続的・安定的経営のため、自主財源を確保することが重要です。積極的な営業活動により、財団サポート会員・特別会員(事業協賛)や企業等の助成金の獲得の取組みを進めます。

- ③ 組織力の強化

活力ある組織を構築するために職員の構成を見直すとともに更なる人材育成に取り組む必要があります。正規化した職員の更なるスキルアップを図ることや外部登用による人材の確保を進めます。

- ④ 固定経費の抑制

事業活動収支は新型コロナウイルス感染拡大により収入減となったものの、平成 26 年度から続く黒字決算を継続することが出来ました。さらに、人件費が増加傾向にありますが、非正規職員の給与体系の見直しなどを進めて行きます。

- ⑤ 情報発信の強化

財団主催事業や施設の利用案内など積極的に発信する必要があります。財団の情報紙やホームページを見直し、拡充するとともにマスメディアやSNSなど様々な手段で情報発信の強化を図ります。

- ⑥ 次期指定管理申請の取組

財団の管理する施設の指定管理者としての最終年度であり、指定管理申請時に提案した事業計画に掲げた事業を着実に実施するとともに、次期指定管理取得に向け取組みます。

Ⅱ 事業概要

1. 芸術文化の振興

(1) 音楽・演劇等

① 鑑賞機会の提供

重点事業として取り組んだ「八王子音楽祭」のほか、クラシックコンサート、ポピュラーコンサート等を実施しました。

ア. 重点事業

第11回目となる「八王子音楽祭」では、ジャズの楽しさやこだわりを伝える企画により、ホールや街中のカフェ等で広く鑑賞機会を提供しました。著名なジャズメン5人の演奏スタイルを紹介する「Five Legends of JAZZ」や、ジャズアーティストをゲストに迎えて八王子エフエムの公開収録を実施しました。



Five Legends of JAZZ

イ. 芸術文化会館（いちようホール）

「八人の王子たち」や「国府弘子スペシャルトリオ with 岡本真夜」、「三遊亭円楽・桂文珍 二人会」や「神田松之丞 独演会」など、多様なジャンルの公演を実施しました。



ディキシーランド・ジャズの魔法！

ウ. 南大沢文化会館

「八王子音楽祭」の事業の一つとして、「秋の夜長の極上 JAZZ タイム」や「ディキシーランド・ジャズの魔法！」、「NAOTO&榊原大アコースティックコンサート」を実施しました。

エ. オリンパスホール八王子

「東京交響楽団第4回八王子定期演奏会」、「東京交響楽団第5回八王子定期演奏会」や「ドラゴンクエストコンサート 交響組曲ドラゴンクエストⅪ過ぎ去りし時を求めて」を実施しました。



伝承のたまてばこ

② 文化活動等普及

「伝承のたまてばこ」では、多摩地域からの参加がこれまでより3市増えました。また合唱や演劇、ダンス等多様なジャンルにおいて、子どもから学生・中高年層まで広く市民が参加する体系的なワークショップと発表公演を実施しました。

また気軽に楽しめる平日開催のコンサート、学校の希望に沿った演奏を届けるアウトリーチ事業を展開しました。

ア. 芸術文化会館（いちようホール）

「八王子学生演劇祭」の関連ワークショップと発表公演、「八王子ユースオーケストラ」の練習を通年で実施したほか、八王子車人形の集大成シリーズを実施しました。



八王子ユースオーケストラ

イ. 南大沢文化会館

「八王子ユースオーケストラ第4回演奏会」のほか、「八王子クリンゲンコア（市民合唱）コンサート」や、小中学生を対象にした「MOBダンスワークショップ」を実施しました。また平日の午前中に市民が気楽に楽しめる「モーニングコンサート」を継続実施しました。

ウ. 学園都市センター

「八王子音楽祭」の事業の一つとして「みんなで Good! JAZZ Day」を開催し、公募により参加したバンドによるジャズライブや、自由参加のジャムセッションを実施しました。

エ. オリンパスホール八王子

東京交響楽団と八王子クリンゲンコア（市民合唱）による「フレッシュ名曲コンサート」を実施しました。また劇団四季と提携し、市内小学校の子どもたちを招待して質の高い演劇を鑑賞する「こころの劇場」を開催しました。

オ. 学校アウトリーチ事業

東京交響楽団メンバーやプロのジャズ演奏家などが市内小中学校に出向き、楽器のわかりやすい紹介や生演奏を通じて、子どもたちが本物の音楽に触れる機会を提供しました。

③ 公演等への支援や実行委員会の事務局運営

市民が主催する芸術文化事業に対し、当日の運営や舞台作りのアドバイスなどの人的支援や会場利用料の一部助成などを行いました。

(2) 美術（夢美術館）

美術鑑賞、文化芸術活動等の普及事業や施設の維持管理、収蔵品の保管を適切に行いました。

① 美術鑑賞

ア. 国内外で高い評価を受けている優れた美術品等の紹介として「なぞなぞ絵解き 判じ絵展 ー江戸の庶民と知恵比べー」、「浮世絵にみる江戸美人のよそおい」、「素描礼讃 岸田劉生と木村荘八」を開催しました。



素描礼讃 岸田劉生と木村荘八

イ. 学生や子どもたちも楽しめる展覧会として「横山 宏のマシーナクリーガー展 立体造形でみせる空想世界」や「かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集合！」を開催しました。



かこさとしの世界展
だるまちゃんもカラスのパン
やさんも大集合！

ウ. 小島善太郎、鈴木信太郎、城所祥、清原啓子など市にゆかりの作家の国内トップレベルの作品を紹介しました。

② 文化芸術活動等普及

ア. 市民の日頃の文化芸術活動の発表の場として「市民公募 夢美エンナーレ入選作品展」を開催しました。

イ. 大学連携事業として東京造形大学の学生が出品する「東京造形大学フラッグギャラリープロジェクト」は16回目を迎え、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成を目的に「スポーツ」をテーマにした作品を商店街（ユーロード）に掲出しました。

また、帝京大学と連携した「洋画家 小島善太郎資料研究」では学生が参加し収蔵品の調査と展示を行いました。



東京造形大学フラッグギャラリー
プロジェクト

ウ. 東京富士美術館、村内美術館と「第14回 はちおうじ美術館めぐり SUN☆KAN ラリー」を実施しました。

エ. 展覧会や展示作品の理解を深めるため、「浮世絵にみる 江戸美人のよそおい」などの特別展において展示室内で解説会（ギャラリートーク）を計8回開催し、「なぞなぞ絵解き 判じ絵展」では講演会を1回開催しました。また、特別展図録と収蔵品を紹介する図録等を販売しました。



なぞなぞ絵解き 判じ絵展講演会

(3) 文化施設の管理・運営

芸術文化会館（いちょうホール）、南大沢文化会館の指定管理者として、利用者満足度向上のため、指定管理申請における提案書に基づき、利用案内、施設貸出、利用料徴収などの業務及び施設や設備の保守管理業務などで適正な管理運営を行うとともに施設利用の促進に努めました。

ア. 芸術文化会館（いちょうホール）

入場者数 222,683人 施設利用率 75.5%

利用者満足度調査結果 総合的な満足度 99.5%（大いに満足と満足の合計）

イ. 南大沢文化会館

入場者数 131,644人 施設利用率 81.8%

利用者満足度調査結果 総合的な満足度 99.4%（大いに満足と満足の合計）

(4) 美術館の管理・運営

夢美術館の指定管理者として、施設、設備、備品、収蔵品の適正な管理及び受付業務（観覧料の徴収など）を行いました。

開館日数 225日 施設利用・事業参加者数 31,958人（うち展覧入場者数29,766人）

利用者満足度調査結果 総合的な満足度 98.5%（大いに満足と満足の合計）

2. コミュニティづくりに関する事業

(1) コミュニティの育成

ふれあいのあるまちづくりの推進、地域住民の交流促進及び地域コミュニティの高揚・啓発を図るための事業を実施しました。

① コミュニティづくりの活性化

地域住民の交流の場の提供及び住民協議会と協働し、誰でも気軽に参加できる「文字遊び」や体の調子を整え元気に過ごすための「ゆがみ改善体操」などのコミュニティ講座を市民センターで実施しました。

また、八王子市生活安全部防災課の協力により、住民協議会の方を対象に避難所開設時に向けた「防災講座」を実施しました。



ゆがみ改善体操教室

② 住民協議会連携事業

住民協議会連絡協議会（17 地域住民協議会で組織）の事務局を担当し、総会・定例会及びコミュニティ懇談会のほか、健康をテーマとした講演会「大切な家族を胃がん・大腸がんで亡くさないためにできること」を開催しました。



防災講座

③ 地区図書室の運営

読書活動の活性化と地域住民の交流を図るため、住民協議会や地域関連団体と連携して地区図書室を開設し、「図書の貸出し」や「読み聞かせ」などのほか、八王子市図書館の蔵書のリクエスト受付及び貸出・返却業務を担いました。このほか、地区図書室間の情報交換の場として八王子市中央図書館職員を交えた地区図書室連絡会を開催しました。

また、八王子市中央図書館が行っている市民センター図書館化について協力し、令和元年7月1日に石川市民センター図書館、令和元年12月1日に由木中央市民センター図書館が開設されました。

④ コミュニティ用具の貸出し

地域住民協議会ほか各種団体にコミュニティ用具の貸出しを行い、市民センターまつりなどで活用されました。

(2) コミュニティ活動の支援

地域コミュニティの一層の活性化を図るため、住民協議会の運営経費や八王子まつりなどの開催経費の一部を助成しました。

① 住民協議会への助成事業

コミュニティづくりの中心的推進団体である17地域住民協議会の活動を支援するため、運営費のほか、広報紙の発行費用、地域住民のニーズに応じて開催される「地域ふれあい講座」の開催経費の一部をそれぞれ助成しました。

② まつりへの助成事業

「八王子まつり」をはじめ、「フラワーフェスティバル由木」や「踊れ西八夏まつり」、「八王子いちよう祭り」の開催経費の一部を助成したほか「八王子まつり」、「フラワーフェスティバル由木」の事務局を担当しました。



八王子まつり

(3) 地域ふれあいサロン

地域コミュニティの推進を図るため、市民センター内に一人でも気軽に立ち寄れる「地域ふれあいサロン」を中野・由井の2地区で実施しました。

(4) コミュニティ施設の管理・運営

市民センター18館及び地区会館14館の指定管理者として、住民協議会や地元町会・自治会などと連携し、利用者満足度の向上を図れるよう、利用案内、施設貸出及び利用料徴収などの業務、施設や設備の保守管理業務を行いました。

また、10月12日の台風19号襲来の際には市の要請により横山南・加住・恩方市民センターほか4センターに避難所を開設し、住民協議会の協力のもと避難者の受け入れなど、役割を果たしました。

利用者数 1,394,181人 施設利用率 57.7% ※区分利用率

利用者満足度調査結果 総合的な満足度 95.9%（大いに満足と満足の合計）

※市民センターの区分利用率は午前・午後（A・B）・夜間（A・B）それぞれの利用区分数の合計を利用可能区分数で除した数

3. 市民のスポーツ活動の促進

(1) 地域との協働

地域と協働した公園づくりを進めるため、上柚木小学校と連携した陸上競技場フィールドへのティフトン苗の補植を行いました。

また、アドプト団体やボランティア団体と協働し、安全できれいな公園づくりを行うとともに、就業体験の場の提供として、市内中学校計 4 校の職場体験や東京都立南大沢学園の実習生等の受け入れを行いました。



上柚木小学校とのティフトン苗補植

(2) 豊かな自然の保護と活用

上柚木公園の貴重な環境資源を活かすため、自然観賞教室やサレジオ工業高等専門学校との協力のもと愛宕小学校と協働して行った樹木プレートの製作など 11 事業を実施したほか、環境資源事業として、高尾の森づくりの会の協力のもと里山の林床再生を実施しました。

(3) 市民の健康増進・子どもの体力向上

市民の健康増進・子どもの体力向上関連 16 事業（うち後援 2 事業）を実施しました。

市内唯一の小学生対象短距離走競技会「はちおうじダッシュ！」は、あいにく雨天の中での開催となりましたが、市内 63 校、市外近隣 20 校から 482 人の児童が参加しました。学年男女別の競技会に加え、走り方を学ぶクリニックを実施するなど児童のスポーツの普及、健全育成に努めました。

また、東京オリンピック、パラリンピック開催に向けての機運醸成を目的に「夢の陸上競技体験教室」を開催しました。

コニカミノルタ陸上競技部や JR 東日本ランニングチームのコーチたちが講師を務める「ジュニアジョギング教室」では、地元の小中学生 49 名が年間に渡って 28 回の指導を受けました。



第 8 回はちおうじダッシュ！

(4) 上柚木公園の管理・運営

運動施設を含む上柚木公園の指定管理者として、使用受付・貸出及び利用案内、使用料収納事務などの運営業務を行いました。また、施設・設備の保守管理・運動施設管理業務、安全安心の遊具管理など適正な公園施設管理業務を行いました。

運動施設利用人数 317,128 人 施設利用率 78.3%

利用者満足度調査結果 総合的な満足度 96.6% (大いに満足と満足の合計)

4. 学園都市づくりの促進

(1) 学園都市大学

八王子学園都市大学（いちょう塾）では、大学コンソーシアム八王子加盟の 25 大学等を含む講座提供機関 32 機関より提供された 308 講座を開講しました。

また、受講生の募集のため、講座案内 13,000 部及び市広報特集号 572,000 部を作成するとともに、学園都市センターをはじめとする市施設に講座ごとに作成したチラシを配布する等、市内外への周知に努めました。



いちょう塾 講座風景

(2) 大学コンソーシアム八王子

大学コンソーシアム八王子の運営を支援しました。

① 大学等連携事業

- ア. 大学コンソーシアム八王子に加盟する 25 大学等と連携し、「夏休み子どもいちょう塾」を 2 日間開催しました。
- イ. 全国の教職員を対象とした「FD・SD フォーラム」と「SD 勉強会」を実施しました。



夏休み子どもいちょう塾

② 情報発信事業

- ア. 情報紙「大学コンソーシアム八王子情報 Vol. 16『八王子まるごと子どもキャンパス』」を発行しました。
- イ. 2019 新入生のための生活便利帳「シティインデックス八王子」を発行しました。
- ウ. SNS の活用を含めたウェブサイトにより情報を発信しました。



学生企画事業補助金成果報告会

③ 学生活動支援事業

- ア. 八王子地域を舞台に地域貢献を目的として学生が企画・運営・実施する「学生企画事業」に補助金を交付するとともに成果報告会を開催しました。
- イ. 「八王子まつり山車曳き体験」を実施しました。
- ウ. 「八王子地域合同学園祭第 14 回★学生天国★」を八王子学生委員会と共催しました。



学生発表会

④ 産学公連携事業

- ア. 学生による様々な分野の研究成果を発表する「第 11 回大学コンソーシアム八王子学生発表会」、「八王子学生 CM コンテスト」を開催しました。
- イ. 「八王子学生 CM コンテストワークショップ」を実施しました。



学生 CM コンテスト

⑤ 外国人留学生支援事業

- ア. 外国人留学生に、世界的な観光地である高尾山に登ったうえで（第 1 部 高尾山登山体験）、その感想を踏まえ、外国人観光客が高尾山をより一層満喫するために求められる取組を考えてもらうこととし（第 2 部 ワークショップ）、「留学生座談会」を開催するとともに、「留学生勉強会」を FD・SD フォーラムの 1 分科会として開催しました。

⑥ 八王子市学園都市推進会議

- ア. 「八王子地域合同学園祭ビッグウエスト学生フェスティバル 2019」を実施しました。
- イ. 「八王子いちょう祭り・学生広場 八王子市学園都市づくりコーナー」や「第 96 回東京箱根間往復大学駅伝競走出場校合同壮行会」、「B・W・O 学生落語会」を実施しました。

(3) 学園都市センターの管理・運営

学園都市センターの指定管理者として、利用者満足度向上のため、指定管理申請における提案書に基づき、利用案内、施設貸出、利用料徴収などの業務及び施設や設備の保守管理業務などで適正な管理運営を行うとともに施設利用の促進に努めました。

入場者数 133,188 人

施設利用率 84.1%

利用者満足度調査結果 総合的な満足度 98.9% (大いに満足と満足の合計)

5. 法人管理

(1) 財団の管理・運営

予算決算・経理・人事管理等を適正に行い、円滑な運営を図りました。
また、評議員会を2回、理事会を3回、諮問委員会を2回開催しました。

(2) 収支安定の取り組み

外部助成金の獲得や営業活動により収入の確保に努め、利用料金収入の増額を図りながら、効率的な業務の執行により支出を抑制して収支の安定に取り組みました。

(3) サービス品質の向上

マネジメントの確実性を高めるとともに、お客様の声を的確に改善につなげ、利用者目線に立った施設管理を行いました。また、情報セキュリティポリシーに基づき情報資産や情報機器を管理しました。

(4) 組織力強化

① 人事制度の改革

内部登用による正規職員化で人材を確保するとともに給与制度の見直しに努めました。

② 人材の育成

研修計画に基づき各種研修を実施したほか、サービス介助士の習得や指定管理事業計画で提案した上級救命講習に参加させるなど、人材の育成を図りました。

③ 情報発信力の強化

芸術文化公演を始めとする各種催物などの情報や本財団が管理運営する施設の利用案内を情報紙、インターネットなどを通じて市民に発信しました。また、18市民センターにおいては施設の空き情報を日々更新しホームページで提供しました。

(5) 第2次中期経営計画及び指定管理提案の目標達成

理事長、常務理事及び財団管理職で構成する「執行会議」と各職場の代表職員で構成する「経営会議」を7月から開催し、各所管の課別経営計画の進捗状況や成果について情報を共有するとともに、具体的な改善策を検討・実施しました。

令和元年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第9条第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成していません。